



公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン (WWFジャパン)

活動指針

WWF (World Wide Fund for Nature:世界自然保護基金)は、人と自然が調和して生きられる未来を築くことをめざし、地球上の生物多様性を守ることと、人の暮らしが自然環境や野生生物に与える負荷を小さくすることを柱に、国内外で活動を展開しています。



©Supriyanto/WWF Indonesia

団体の特徴

WWFは、世界の約100カ国で活動している地球環境保全団体です。1961年にスイスで設立され、現在、スイス本部のほか、80カ国以上の国に拠点を置き、さまざまな環境保全活動を推進しています。WWFの活動はすべて、皆さまからのご寄付によって支えられています。1971年に設立されたWWFジャパンでは、生物の多様性の保全、木材資源などの持続可能な利用の推進などの他、CO₂の大幅な排出削減を目指し、政府や企業への働きかけにも力を入れています。

主な活動内容

- 森を守る**
地球上で優先的に保護すべき森林を見極め、違法伐採の阻止や保護区の拡大などに取り組んでいます。
- 海を守る**
海の生き物にとって重要な海域を選び、観光や開発がダメージを与えない形で行われるよう働きかけています。
- 野生生物を守る**
生息状況の調査、保護区の拡大、密猟・密輸の監視と防止など、世界中でさまざまな保護プロジェクトを行っています。
- 地球温暖化を防ぐ**
さまざまな影響調査を行って社会へ警鐘を鳴らすとともに、具体的な対策を各国政府や産業界に提言しています。
- 資源の持続可能な利用を促す**
木材製品や水産物のエコラベルの普及など、自然資源を枯渇させることなく利用し続けられるような社会の仕組みづくりに取り組んでいます。

ご寄付いただいた場合

- ◆**寄付金は寄附金控除の対象になります。**
・11月下旬頃、寄付金の領収書を郵送します。寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に寄付金の領収書を添付してください。
- ◆**活動内容を報告します。**
・WWFの活動を記録した会報「地球のこと」を年4回お送りします。同誌では、その時々で話題になっている環境問題の特集をしています。
- ◆**WWF個人会員として自動登録します。**
・当商品を通じて寄付いただいた場合、WWFジャパンの個人会員として登録させていただきます。ご入会後は、パンダキーチェーンや会員証のほか、上記の会報「地球のこと」を定期的にお送りします。

団体連絡先

公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン (WWFジャパン)

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル3階
TEL:03-3769-1241 (平日 10:00~17:30) FAX:03-3769-1717
URL:https://www.wwf.or.jp

ご支援でできること

当商品を通じた寄付金は、WWFが国内外で実施する環境保全活動に活用します。

残したいのは、人と自然が調和して生きられる未来。豊かな自然を次の世代に引き継ぐため、WWFは世界中で活動しています。



©naturepl.com/Eric Baccega/WWF



©Jon Aars/Norwegian Polar Institute/WWF-Canon



©Martin Harvey/WWF-Canon



©John E. Newby/WWF-Canon

One Planet Lifestyle ~地球にちょうどいい生き方~ の提唱

日本人のライフスタイルには地球が2.9個も必要

70億の人間と、数万種の多様な生物が生命の営みを繰り返している地球。地球には再生する自然の力があります。その力が失われれば、本来自然が持つバランスが崩れ、環境破壊が起こります。そして、自然の恵みを利用してきた人間の暮らしにも影響が出てきます。

その原因になっているのが、未来へ向けて残せるはずの「自然の資産」を取り崩している私たちのライフスタイル。世界中の人が日本人と同じライフスタイルで暮らしたら、1個しかないはずの地球が2.9個必要になるほど、地球に負担をかけてしまいます。

多様な生物のいる自然とともに私たちの暮らしがいつまでも続くためには、ムダにしない、地球の再生する力を超えないものの作り方、使い方が必要です。ひとりひとりがこのことに気づき、地球にちょうどいいライフスタイル (One Planet Lifestyle) で暮らせるようにするため、WWFは活動しています。

主な活動例



©David Lawson/WWF-UK

国境を超えて貴重な自然環境を保全する

WWFでは、世界で優先して保全すべき地域を設定し、資金援助を含めた保全活動を、国境を超えて実施しています。極東ロシア、インドネシア、チリ、タイ、ミャンマー等で活動。極東ロシアでは116万ヘクタールの国立公園が指定され、トラの個体数も増加しました。



©WWF Japan

政策や法律を変える

国際条約会議や国内の法律施策の場で、国連や国際機関、各国政府や自治体などに対し、科学的根拠による情報の発信や提言を行い、世の中の仕組みを変える交渉を行っています。気候変動枠組条約や生物多様性条約、ワシントン条約などの定期的開催される締約国会議など、国際交渉の場で法律施策に影響を与えています。



©WWF Japan

地域関係者と共に取り組む

貴重な生態系を保全するには、その地域に暮らす人々のことも考えなければなりません。その地域の自然を大切に思い、自然と共存していける方法を、WWFは住民と一緒に考え、保全活動に取り組んでいます。世界的に貴重なアオサンゴ群落のある石垣島・白保地区や、希少な淡水魚が多く生息する九州の水田で、地域住民と活動に取り組んでいます。



©WWF Japan

企業に働きかける

経済大国日本の消費力は、自然という資源に大きな影響力を持ちます。使用する原材料の調達方針について企業に働きかけたり、消費者へ課題や解決策を提示するなどの普及啓発活動に取り組んでいます。木材製品や水産物など、自然資源が持続可能に利用されることが消費者にもわかるようエコラベルの普及に取り組んでいます。

※上記は2019年現在実施中の活動例です。活動内容は年度により、変更されることがあります。詳細はWWFジャパンのホームページをご確認ください。